

## 第2節 環境教育・環境学習の推進

### 1 県環境教育等行動計画の策定

私たちの周りには、大気・水・土壌環境の汚染などの身近な環境問題から、地球温暖化の防止や生物多様性の保全などの地球規模の環境問題まで、様々な環境問題が存在しており、これらは、私たちの日常生活や社会経済活動と密接に関連しています。これらの環境問題は、経済・社会の制度見直しだけでなく、私たち一人一人が、取り組まなければなりません。このため、問題の本質や取組の方法を自ら考え、解決する能力を身に付け、自ら進んで環境問題に取り組む人材を育てていくことが重要です。

県では、平成17年3月に策定した「県環境学習推進基本方針」に基づき様々な環境学習の施策を推進してきましたが、本県を取り巻く社会経済情勢や環境を巡る状況等が変化してきました。一方、平成23年6月には、「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」の改正により、「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」が新たに制定されました。このため、これらを踏まえて「県環境学習推進基本方針」を見直すこととし、平成28年3月に「県環境教育等行動計画」を策定しました。

この「県環境教育等行動計画」では、本県における環境教育等に関し、方向性や具体的な行動計画を示し、それを総合的かつ計画的に推進することにより「人と自然が調和する地球にやさしい社会づくり」を担っていく人材の育成を目指しています。

また、県教育委員会では、環境教育の在り方について研究、実践を行う研究協力校を指定するなど、学校の実態や自然の豊かさを生かした体験的な環境教育を推進しています。また、県総合教育センターでは短期研修講座を開催し、指導者の育成に努めています。各学校においても「総合的な学習の時間」等を活用して、全ての小・中学校で、地域の特色を生かした体験的な活動に取り組んだり、各教科等との関連を図った学習を推進したりするなど、教育活動の中で環境教育を行っています。

### 2 環境学習ネットワークの構築

子どもから大人まで、鹿児島県の身近な環境から地球環境の問題まで幅広く調べることができる環境学習ポータルサイト「かごしまecoネット」を運営しました。

### 3 こどもエコクラブの支援

こどもエコクラブの会員を対象として、地域における自主的な環境学習や環境保全に向けた取組を支援しました。

#### (1) こどもエコクラブの概要

「こどもエコクラブ」は、次代を担う子どもたちが、地域において自主的に環境学習や実践活動を行うことを目的に、幼児から高校生で結成されたクラブです。

県では、子どもたちが地域の中で仲間と一緒に地球環境に関する学習や具体的な取組・活動が展開できるよう支援しました。（表4-2）

#### ・ クラブの活動内容

リサイクル活動、清掃活動、自然観察、水質調査、環境学習会など

**表4-2 登録状況**

年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
市町村数	22	28	26	20	26	16	20	14	16	15	8	9
エコクラブ数	111	108	86	76	116	80	92	93	57	60	48	39
会 員 数	1,584	1,772	1,091	1,421	2,612	2,121	2,293	2,151	1,895	1,928	1,631	2,114

年 度	H26	H27	H28	H29
市町村数	9	11	11	10
エコクラブ数	39	32	22	22
会 員 数	2,164	1,771	1,284	1,318

#### 4 環境学習指導者人材バンクの利用促進

県内各地の環境学習指導に係る有資格者の情報を整備し、県ホームページ上で県民に公開することにより、県民自ら身近な指導者に環境学習会等の講師を依頼することを可能にし、自主的な環境学習の促進を図りました。

- ・ 人材バンク登録者数85人（平成30年3月末現在）

#### 5 かがしまこども環境大臣の任命

自然環境の保護や廃棄物対策等、環境保全活動を積極的に行っていこうとする子どもたちを対象に環境全活動に関する作文（環境レター）を募集し、優秀賞に選ばれた子どもたち6人を「かがしまこども環境大臣」に任命し、持続可能な社会づくりに主体的に参加できる人材の育成を図りました。（表4-3、4-4）

##### (1) かがしまこども環境大臣の活動

- ・ かがしまこども環境大臣サミットへ参加（表4-4）
- ・ 県主催やその他の環境イベント参加

**表4-3 環境レター応募状況の推移**

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
小学校	360人(14校)	277人(10校)	523人(21校)	547人(7校)	517人(9校)	355人(7校)	330人(9校)
中学校	199人(13校)	191人(9校)	109人(9校)	284人(9校)	74人(6校)	172人(6校)	235人(8校)
計	559人(27校)	468人(19校)	632人(30校)	831人(16校)	591人(15校)	527人(13校)	565人(17校)

**表4-4 かがしまこども環境大臣サミット**

時 期	場 所	内 容
8月9～10日	かがしま水族館，青少年研修センター等	環境学習，環境宣言づくり等

#### 6 屋久島における環境学習

屋久島環境文化財団では、世界自然遺産に登録された屋久島の自然をフィールドに、自然の大切さや自然と人とのかかわり（「環境文化」という。）を学ぶ環境学習事業を屋久島環境文化研修センターを拠点に展開しています。これまでの受講者数は、表4-5のとおりです。

また、屋久島の自然環境・歴史・民俗について学習する屋久島研究講座等を開催しました。

## (1) 環境学習自主事業

### ① 屋久島自然文化体験セミナー

県内はもとより、全国の小・中学生，高校生，大学生，一般の方々を対象に，月1回程度，おおむね2泊3日の日程で，屋久島の海，山，川などをフィールドに，野外活動を中心とする自然体験型の環境学習です。

毎回，テーマや研修内容，対象者を決め，全国に募集を行っています。

また，このほか屋久島の里地の暮らしや伝統文化等について体験できるエコツアーも実施しています。

### ② ふるさとセミナー

島内の方々を対象に，屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見したり自然のすばらしさを学ぶための体験型研修を実施しています。

### ③ 星空観察会，自然に親しむ集い

星空や宇宙への関心を高めるため，島内各地で季節ごとの星空観察を行う星空観察会や，自然に親しむ集いを実施しています。

## (2) 環境学習受入事業

小・中学校，高校，大学の教育活動の一環として，あるいは環境関係団体やエコツアー各種団体からの要請に応じて実施しています。（表4-5）

- ・ 短時間研修（少人数～80人，1～2時間）
- ・ 1日研修（10人～，宿泊を伴わない）
- ・ 宿泊研修（10人～40人，1泊2日）

表4-5 環境学習受講者数

（単位：人）

年度		H25	H26	H27	H28	H29
区分	屋久島自然体験セミナー	148	306	299	299	217
	屋久島ふるさとセミナー	241	243	982	1,109	1,723
	1日研修	288	860	365	247	55
	特別企画研修	-	-	-	-	-
自主事業	短時間研修	221	441	379	325	343
	1日研修	1,196	860	761	971	1,069
	宿泊研修	1,589	4,089	4,563	3,971	3,583
受入事業	短時間研修	221	441	379	325	343
	1日研修	1,196	860	761	971	1,069
	宿泊研修	1,589	4,089	4,563	3,971	3,583

## 7 環境の日及び環境月間

6月5日の「環境の日」は，事業者及び国民の間に環境の保全についての関心と理解を深めるとともに，積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるため，平成5年11月に公布，施行された「環境基本法」に基づき設けられました。そもそも，この「環境の日」は，1972年にストックホルムで開催された「国連人間環境会議」が6月5日から始まったことを記念して我が国の提唱により設けられた「世界環境デー」を踏まえたものです。

以来，我が国では，6月5日から11日までの1週間を「環境週間」として，また，平成3年からは，6月を「環境月間」として環境保全の普及啓発に努めています。

本県においても，関係機関団体の協力のもとに，環境問題に対する関心を高め，できることから行動に移す機会にするため，各種の関連行事を表4-6のとおり実施しました。

表4-6 環境月間関連行事

行事名	内容	主催	場所	期日
地球環境を守るかごしま県民運動推進大会	講演、環境保全活動団体等の表彰等	地球環境を守るかごしま県民運動推進会議	鹿児島市	平成29年6月7日
かごしま環境パートナーズ企業パネル展	環境パートナーズ企業の環境保全活動をパネルで紹介	鹿児島県	鹿児島市	平成29年6月1日～6月30日
環境教育授業	大気についての学習及び大気測定車の公開等	鹿児島県	長島町 鹿児島市	平成29年6月2日 6月23日
ウミガメ保護パトロール	ウミガメ保護パトロール	鹿児島県内の市町村	県内のウミガメの上陸する海岸	平成29年5月～9月
錦江湾クリーンアップ作戦・夏の部	錦江湾岸の海岸清掃活動	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	鹿児島市	平成29年6月2日
小規模事業場等排水対策指導	小規模事業場への立入指導	鹿児島県	鹿屋市等(8事業場)	平成29年6月13日, 14日
産業廃棄物不法処理防止連絡協議会	不法処理防止対策の強化等を図るための情報交換等	鹿児島県	鹿児島市	平成29年6月5日
「九州まちの修理屋さん」登録店募集	九州7県で実施するキャンペーン「九州まちの修理屋さん」の登録店募集	鹿児島県	県内	通年

### 第3節 調査研究・監視測定等の充実

#### 1 環境保健センター

環境保健センターは、環境の保全や保健衛生に係る行政を技術面から支援する試験研究機関として、平成12年4月1日に環境センターと衛生研究所を統合して設置され、大気や水質などに関する監視調査のほか、環境・保健衛生情報の収集・管理・解析、調査・研究などを行っています。(資料編12-(1), (2))

##### (1) 監視調査

大気環境や公共用水域などの環境監視や工場・事業場の排出基準監視を行い、その結果を解析・評価しています。また、県下の大気環境については、テレメータシステムによる常時監視を行い、測定結果は、リアルタイムでインターネットに公表しています。

##### (2) 環境・保健衛生情報の収集・管理・解析

大気、水質、土壌などに関する環境情報及び産業活動や人口の分布など社会状況に関する情報を収集し、総合的な解析・評価を行い、環境行政の各種施策を支援しています。

##### (3) 調査・研究

大気環境や水質環境の保全対策に係る調査など行政ニーズや地域特性に応じた調査研究を行っています。